

事務事業評価シート

(H.29)No.	4020-3	(H.28)No.	4020-3
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	一般市道整備事業(用地対策室分)		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	用地対策室	米山 賢	

会計区分	事業コード	393503
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	一般市道整備事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路新設改良費	一般市道整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5 快適な生活環境づくり
	施 策	2 道路整備
重点プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
生活道路の整備を進め、快適な道路環境及び地域間の道路ネットワークの形成を図ります。

事業内容
市内全域から要望のある、地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備を実施し、既存道路を活用しながら計画的に実施します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		H.30年度(事業計画)			H.31年度(事業計画)			H.32年度(事業計画)		
主な事業の実績・計画	市道改良事業 <H.27繰越分>		<H.28繰越分>		<H.30繰越分>			<H.31繰越分>			<H.32繰越分>		
	・用地費 30千円		・用地費 5,510千円		・用地費 3,500千円			・用地費 3,500千円			・用地費 3,500千円		
	・補償費 2,656千円		・補償費 5,106千円		・補償費 10,010千円			・補償費 10,010千円			・補償費 10,010千円		
	・委託料他 6,144千円		・委託料 2,951千円		・委託料 1,790千円			・委託料 1,790千円			・委託料 1,790千円		
<H.28現年分>		<H.29現年分>		<H.30現年分>			<H.31現年分>			<H.32現年分>			
・用地費 1,490千円		・用地費 3,500千円		・用地費 3,500千円			・用地費 3,500千円			・用地費 3,500千円			
・補償費 893千円		・補償費 10,010千円		・補償費 10,010千円			・補償費 10,010千円			・補償費 10,010千円			
・事務費 369千円		・事務費 1,790千円		・事務費 1,790千円			・事務費 1,790千円			・事務費 1,790千円			
市内公有地除草作業		市内公有地除草作業		市内公有地除草作業			市内公有地除草作業			市内公有地除草作業			
・委託料 549千円		・委託料 700千円		・委託料 700千円			・委託料 700千円			・委託料 700千円			

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分				
①直接事業費	8,830千円	3,301千円	17,067千円	17,200千円	8,000千円	8,000千円	8,000千円	
内訳(千円)	国・県支出金							
	地方債	8,500	400	17,000	17,200	8,000	8,000	8,000
	その他()							
	一般財源	330	2,901	67	0	0	0	0
人工数	職員		1.03人	1.03人	1.03人	1.03人	1.03人	1.03人
	臨時職員等		0.06人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
②概算人件費	0千円	7,827千円	0千円	7,827千円	7,827千円	7,827千円	7,827千円	
①+②総事業費	8,830千円	11,128千円	17,067千円	25,027千円	15,827千円	15,827千円	15,827千円	

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
地域内生活道路の改良に取り組んでいますが、限られた予算の中で地域の要望等を考慮し、緊急性などに配慮して計画的に整備を進めました。生活道路の改良により、地域の安全性・利便性の向上が図られ、生活環境の改善に繋げることができました。地元と十分な協議を行い事業を進めます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
引き続き緊急性や整備効果などを考慮し、優先順位を決め計画的な整備を進めます。生活道路の安全対策等の向上を目指します。	